

事業の目的

地域の課題を解消し、「安全・安心な走行区間の確保」「円滑な物流ルートの確保」「三次救急医療機関への円滑な搬送」の実現に向け、盛岡南道路を整備します。

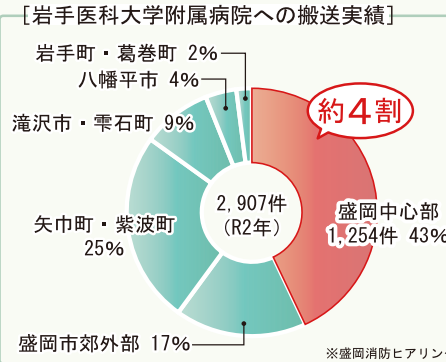
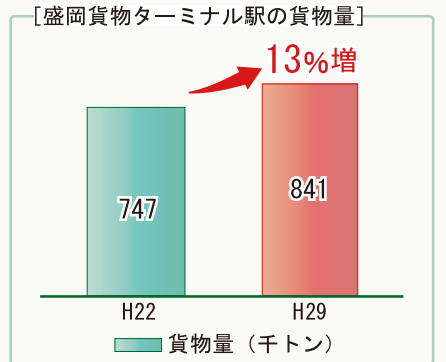
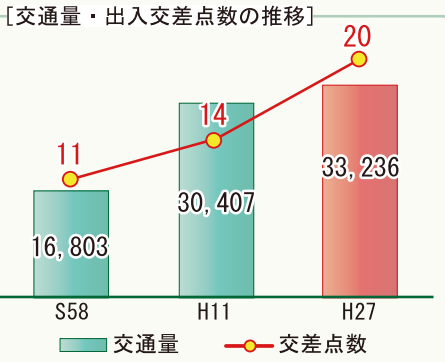
安全・安心な走行空間の確保



円滑な物流ルートの確保



三次救急医療機関への円滑な搬送



道路が出来るまでの流れ

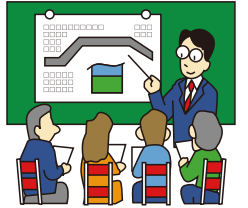
01 道路の計画

交通量や混雑状況を調査し、地域に必要な道路について計画します。



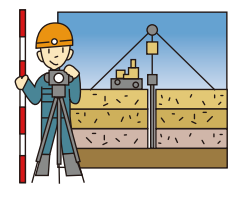
02 計画の説明 (土地立入了解)

計画が決まると関係者に説明を行い協力を求めます。



03 路線測量・地盤調査

道路をつくるため必要な資料の収集・調査図面の作成を行います。



04 道路の設計

測量図面や収集した資料をもとに利用しやすい道路や橋等の設計を行います。



05 設計の説明

関係する方に道路の設計について説明を行い、設計について了解をいただきます。



06 用地巾杭設置

設計に基づき道路建設に必要な用地の範囲を示す杭を打設します。



07 用地の調査

道路建設に必要な土地・建物の調査を行い、用地境界確認のため、立会いをお願いします。



08 用地価格の交渉 (契約・支払い)

用地調査結果をもとに地権者と価格等について交渉を行い、契約合意を得た後、補償金の支払いを行います。



09 工事の説明

工事の方法、期間、交通処理などの説明を行います。



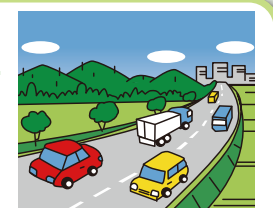
10 工事

設計に基づいて道路や橋をつくります。



11 完成 (開通)

計画から工事までいろいろな方の協力によって快適な道路ができあがります。



一般国道4号 盛岡南道路



事業概要

盛岡南道路は、紫波郡矢巾町から盛岡市街を結ぶ区間において、国道4号の交通混雑の緩和や安全性の向上、円滑な物流ルートの確保、三次救急医療機関への円滑な搬送を目的とした延長7.4kmのバイパス事業です。

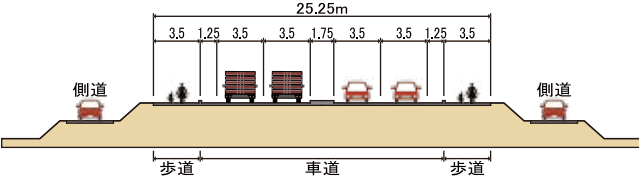
事業のあゆみ

令和3年度 都市計画決定
令和4年度 事業着手

計画諸元

路線名 一般国道4号
区間 起) 岩手県紫波郡矢巾町藤沢
終) 岩手県盛岡市永井
延長 7,400m 幅員 25.25m
規格 第3種第1級 設計速度 80km/h

標準横断面



位置図



矢巾町から盛岡市街の国道4号の課題

○交通混雑の発生と交通事故の多発

この区間では、周辺地域の市街化が進み、交通量や信号交差点が増加したことにより、慢性的な交通混雑や交通事故が多発しており、混雑の緩和や安全性の向上が課題となっています。

○円滑な物流ルートの確保

周辺地域は、「岩手流通センター」や「貨物ターミナル駅」などが立地する物流拠点となっており、地域産業の活性化を支援する円滑な物流ルートの確保が課題となっています。



○三次救急医療機関への円滑な搬送

近隣には、三次救急医療機関である「岩手医科大学附属病院」が立地しており、地域の救急医療活動を支援し、安全・安心を確保する円滑な搬送が課題となっています。



凡例	
●●●●	事業区間
—	直轄国道
—	補助国道
—	高速道路
—	主要地方道
—	一般県道
—	車線数(2車線/4車線以上)
●	信号交差点
●	主要渋滞箇所(国道4号)
10,000(台/日)	交通量(H27センサス)
■	主要施設
■	DID地区(R2人口集中地区)
■	市街地
■	工業地域
—	市町村境界線

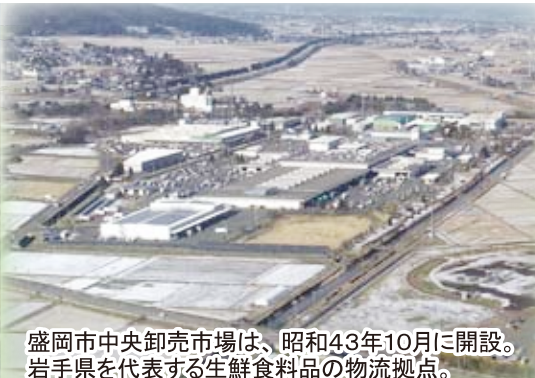
※市街地は用途区域の住居区域範囲。
工業地域は用途区域の工業地域、準工業地域、工業専用地域の範囲。



岩手流通センター

岩手医科大学附属病院

盛岡市中央卸売市場



昭和45年設立の他業種企業が集まった卸団地。北東北のドラック運送中核拠点の岩手トラックターミナルなどが立地。

令和元年9月21日新築移転。平成8年3月に国から高度救命救急センターに認定。

盛岡市中央卸売市場は、昭和43年10月に開設。岩手県を代表する生鮮食料品の物流拠点。



●測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R4JHf46 ●本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。